

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)	◎	観光型ホテル（経営者）	・Go To Travelキャンペーンが始まっていると思うので、ある程度の効果はあるのではないかと。しかし、それも新型コロナウイルス感染の第2波の状況による。
	◎	都市型ホテル（営業担当）	・5～6月が厳しく底だと思うので、2～3か月後は、現状と比較すれば良くなる。
	◎	通信会社（営業担当）	・給付金等による消費が増えることで、一定の経済効果が見込める。
	◎	ゴルフ場（総務担当）	・新型コロナウイルス感染の拡大が落ち着いてきているため、良くなる。
	○	百貨店（営業担当）	・客単価や来客数をみると回復傾向にあることは間違いないが、今後の見通しが難しい。新型コロナウイルスの影響次第になるが、現状が続くならば今よりはやや良くなるのではないかと。
	○	百貨店（店長）	・新型コロナウイルス感染が収束に向かいつつあるなかで、やや良くなる。
	○	コンビニ（経営者）	・今後は、県外や市外の客が1～2か月前よりも増えてくるのではないかと。
	○	コンビニ（経営者）	・現在、来客数が1日平均40～50人増えてきているが、この先も100人くらいは増えると考えられるので、良くなる。
	○	家電量販店（店長）	・東京オリンピック需要で、やや良くなる。
	○	乗用車販売店（販売担当）	・今の景気のままでは本当に大変である。客は来ない上に、車は売れないので、希望的観測だが、2～3か月先は良くなってもらわないと困る。
	○	住関連専門店（仕入担当）	・先行きは不透明だが、今後2～3か月は自粛していた反動が一気にというより、少しずつ表れてくるのではないかと。
	○	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・良くなるといっても4～5月の状態よりはという話である。学校も始まり、地域観光の補助金は、家に籠もりがちな人の目を外に向けさせるには良いと思う。長期的にはメーカーの動向が、しっかりしていくことが大切である。
	○	一般レストラン（経営者）	・ワクチンの開発や治療法が確立し、少しずつでも元どおりの生活に戻ってほしい。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・社会情勢が変わりがなく、現状が続けばやや良くなる。
	○	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・新型コロナウイルスのワクチンの開発や実用化の見通しが見えてくれば、安心感が一層広がってくる。ただし、新型コロナウイルス収束後の戻りは、以前とは違う面も出てくるとみられ、テイクアウトの仕方など、適合した取組を強化したい。ただし、第2波、第3波の感染拡大等があった場合は、相当に重い影響が出ると懸念される。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・県をまたぐ移動制限が解除になり、宿泊稼働は、15%前後から40%台へと少しずつ上がってきている。会議やミーティングの予約も、徐々に入ってきている。宴会、レストランの利用はまだまだ回復していない。新型コロナウイルス感染防止対策をしっかりアピールして、消費者マインドが上向いてきたときに選ばれるホテルとなるよう仕込みを続けたい。
	○	都市型ホテル（副支配人）	・Jリーグが再開し、Jリーグ関連の予約がかなり見込まれる。これらを起爆剤に今後の売上をある程度まで回復させたい。
	○	旅行代理店（所長）	・自治体の実施する宿泊補助事業やGo To Travelキャンペーンの成果が現れてくることに期待したい。
	○	旅行代理店（従業員）	・国の補助金事業等により、少しずつ回復する見込みである。
	○	通信会社（社員）	・新型コロナウイルスによる自粛生活から、段階的に制限が緩和され、営業活動も徐々に再開している。
○	競輪場（職員）	・やっと観客を入れることができるようになったので、販売量も増えるとみている。	
○	設計事務所（所長）	・「With コロナ」が定着してきて、経済が動き出すため、やや良くなる。	
○	住宅販売会社（経営者）	・新規分譲も始まり、今後、新型コロナウイルスの第2波が来ない限り、順調に回復に向かうとみている。	

□	一般小売店 [精肉] (経営者)	・自粛解除になっても、新型コロナウイルスの陽性者がまた増えてきている。まだ、安心して外には出られない。特に、高齢者の動きが悪い。
□	一般小売店 [家電] (経営者)	・職業柄、夏になるのでエアコンは出ると思うが、特別定額給付金で買うという客がいる一方、買い控えしている客も結構いるので、どちらとも言えない。
□	一般小売店 [青果] (店長)	・このままの状態であれば、売上も少しずつ回復していくと思うが、新型コロナウイルスの感染者がまた増えて以前の状態に戻るとなると、何とも言えない。
□	百貨店 (営業担当)	・新型コロナウイルス収束のめどが立たない以上、コロナ発生前の水準に戻ることはない。ただし、現在が底であると仮定すると、一定程度の回復は見込まれる。
□	百貨店 (営業担当)	・現時点では、2～3か月といえども状況は不透明である。
□	コンビニ (経営者)	・社会全体のリモート勤務、「新しい生活様式」、また、7月からのレジ袋の有料化等、影響が予想できず、売上の見込みも全く予想できない。世の中の動きが見えないため、前年データも発注の参考にならず、苦勞が多い毎日である。夏に多少の希望を持っているが、利益圧縮のなか、11月の時給アップの勧奨などできないと心配している。
□	コンビニ (店長)	・学校が始まり、来客数は幾分増えるのではないかと。ただし、各種イベントが中止になっているので、人出は現在より余り増えるとは思わない。
□	衣料品専門店 (統括)	・今年は新型コロナウイルスの大問題で、全県の祭りが全て中止となっている。例年だと、今ごろから夏祭りの準備に入るが、ほとんどない。新型コロナウイルス対策はまだ続くと思うが、早く収束することを願っている。
□	家電量販店 (店員)	・変わらず好調に推移する。定額給付金の給付による消費の原資があることと、ステイホームの観点が強く、旅行にはまだ多くの出費をしないとみている。
□	乗用車販売店 (経営者)	・当地域は、公共交通のインフラが余り良いとはいえないため、車なしの生活は考えられない。最低でも1人1台保有している感じである。買換え期間は多少延びたりするが、高齢化による免許証返納分を除けば、これ以上の減少はしない。
□	乗用車販売店 (販売担当)	・2～3か月先は、ホテル、ドライブイン関係のいろいろな方に話を聞くと、「宿舎、一般フリー客の予約は、8～9月まで本当に入っていない状態で、夏の林間学校なども秋口に予定しているが、不透明である」とのことである。新型コロナウイルスの影響が落ち着いた限りは、当店の立地する観光地は、今月と同様に最悪の状態が進む。
□	自動車備品販売店 (経営者)	・自粛の反動による行動増加や特別定額給付金の給付で手元現金があることから、多少は購買意欲等がプラスになっていくと思うが、絶対的な自動車稼働率は低下している。今後も下がっていくとなれば、先が読めない状況に陥る。
□	旅行代理店 (経営者)	・新型コロナウイルス感染の第2波が懸念され、完全に旅行者が戻ると思えない。
□	タクシー運転手	・地方の田舎では、そう簡単に良くなるようには思えない。
□	通信会社 (総務担当)	・新型コロナウイルスの感染次第だが、外出制限がかからなければ、例年並みになりそうである。
▲	スーパー (商品部担当)	・新型コロナウイルスの影響も残るなか、現状では買上点数、単価が通常に戻りつつある。今とこの先3か月を比較すると単価下落分が売上に影響しそうである。また、夏休みの短縮化やGo To Travelキャンペーンの影響が出そうである。
▲	衣料品専門店 (店長)	・新型コロナウイルスの感染次第のため、先は読めないものの、厳しい状態が続くとみている。
▲	住関連専門店 (店長)	・特別定額給付金の特需が終わりに向かい、外出自粛緩和等で遠方への外出が増えることで、自宅DIYやガーデニング需要が減ると想定される。ホームセンターとしては来客数の減少が想定される。
▲	その他専門店 [燃料] (従業員)	・受注が減少しているため、受注残の状況からも、かなり厳しくなっている。
▲	通信会社 (経営者)	・新型コロナウイルスの影響で、先行きは不透明である。
▲	美容室 (経営者)	・商店会代表者会議前の雑談では、持続化給付金を申請したか否かが挨拶がわりである。個人商店主は今を生きるのに必死である。

	▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・全部門が落ち込んでいるなかで、車体の板金塗装部門の落ち込みは更に進むと予想している。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染拡大の抑止が経済の向上に結び付くことが明確である。感染への不安が解消できないため、PCR検査の充実と良薬の早期開発が求められている。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスが終息するまでは、どんどん悪くなっている。
	×	衣料品専門店（販売担当）	・新型コロナウイルスが発生してから、じわじわと人出が悪くなっている。自粛が解除になり、人が街に出るようになって、高齢者は慎重で動きが鈍い。2月後半からずっと、3～6月と徐々に低迷の度合いが厳しくなっている。今後もこの下り坂の傾向は変わらないと考えている。
	×	一般レストラン（経営者）	・近隣の祭りやイベントの中止が決定しており、例年あった打ち上げや大量の弁当、オードブルの注文が全てなくなり、かなり大きな痛手である。
	×	スナック（経営者）	・来客数の増加は見込めず、新型コロナウイルス対策に係る経費がどんどん増加していくので、悪くなる。
	×	都市型ホテル（経営者）	・営業を続けるも地獄、休業するも地獄の状況である。
	×	タクシー（経営者）	・全体的に人の動きが悪いので、この先も悪いと予想する。
	×	タクシー（役員）	・新型コロナウイルスの影響と国の政策が悪過ぎるため、悪くなる。
	×	通信会社（経営者）	・前年同月と比較しても、現状大きな差はない。地方は飲食関係を除けば都市部より新型コロナウイルスの影響は少ない。問題は感染の第2波が発生するかどうかである。いずれにしても、今後数年は新型コロナウイルスの封じ込めは期待できないことを考えると、実体経済の悪化は避けられない。
	×	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルス感染の第2波も含め、地方経済は困窮が続き、悪くなる。
	×	テーマパーク（職員）	・県をまたぐ移動の自粛など、感染防止を意識した行動から、まだまだ従来のような観光の動きがない。
	×	設計事務所（所長）	・まだ「新しい生活様式」に対応できる状態ではない企業が多いため、景気回復には相当の時間を要するとみている。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	金属製品製造業（経営者）	・調達、資材関係者からの情報では、売上はやや回復するだろうとのことである。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・工場の稼働停止により落ち込んだ売上をばん回する動きも出始め、現状よりは上向き見込みである。
	○	輸送用機械器具製造業（経営者）	・緊急事態宣言の解除により、自動車販売台数が回復基調となっているため、やや良くなる。
	□	化学工業（経営者）	・先は本当に読みにくいが、現状維持か現状よりは良くなるだろうと、希望的観測をしている。
	□	金属製品製造業（経営者）	・今が一番悪いときで、これから良くなる予定である。今は、希望を持ってやっている。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの状況が依然として落ち着いていないため、先々の見極めが難しい。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルス発生以来悪く、2～3か月先もこのまま悪い状況である。受注量、販売量、取引先の様子も、2～3か月先では改善する様子はない。10月以降になれば、景気は良くなるのではないかな。
	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が、まだしばらくは残ると考える。
	□	輸送業（営業担当）	・今年は猛暑の予測が出ており、夏物家電、エアコン、冷蔵庫、4Kテレビ等の高額商材について、特別定額給付金の給付で購買力が上がり、輸送量も前月同様、前年の2～3割増が予想されている。今後も大変良い状況が続くそうである。
	□	不動産業（管理担当）	・休業していた取引先も事業を再開し始めてきているが、今後の新型コロナウイルス感染の状況によって、先がどうなるか読めない。事務所テナントのうち、テレワーク等で規模縮小が可能な事業所は、賃借面積の縮小や撤退を検討する可能性がある。テナントの空室も埋まらない可能性の方が高い。
	□	広告代理店（営業担当）	・夏の商戦への広告出稿計画が、いまだに入っていない。新型コロナウイルス感染第2波への懸念から、大きな販売促進イベントも実施しにくい。

	□	経営コンサルタント	・新型コロナウイルスの2次拡大が心配される状況で、その影響は計り知れない。行動自粛が原因の経済的悪影響が広範な業種で依然として残り、観光関連のみならず、生活関連業種自体の先行きも厳しい。また、自主廃業が本格的に増加する可能性は高い。
	□	司法書士	・我々、司法書士、行政書士の仕事内容の関係で、余り落ち込まずにいるのかという気がしている。
	□	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・客に変化は出てきたものの、収益に貢献できるまでには、まだしばらく時間が掛かる。
	▲	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・緊急事態宣言に伴う自粛で、地域経済は打撃を受けている。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・自粛で余りお金が入ってこないの、今後は設備を作るとか住宅のリフォーム等の需要はかなり落ち、更に悪くなるのではないかと。
	▲	建設業（総務担当）	・いつ回復してくるか、正直先が見通せない。
	▲	社会保険労務士	・夏祭りなど毎年恒例のイベントが全て中止になり、広範囲に影響が出そうである。
	×	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの経済活動全体への影響は、これからではないだろうか。
	×	建設業（開発担当）	・現政権誕生後、公共工事は順調である。前政権時のスローガン「コンクリートから人へ」のキャッチフレーズでは大変迷惑を被った。現在は新型コロナウイルス禍で企業は大変厳しい状況で、対策のため、個人も企業も耐える時期である。
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（経営者）	・夏休みを迎えて、海や山などの観光地や娯楽施設等に期待をしているようだが、新型コロナウイルスの心配はまだ拭い去ることはできないため、経済活動はわずかだとみている。観光地等の土産品、食品加工品等の増加は期待できるのではないかと。
	○	人材派遣会社（社員）	・国、県の旅行等の補助で、これから出るものもあるが、申込みの1宿泊当たり幾らという対策を採っていることもあって、このまま感染の第2波が来なければ、宿泊施設関係の客の戻りは比較的早いと感じている。各施設の予約申込みが他所よりも比較的早いスピードで戻っているという話である。
	□	人材派遣会社（経営者）	・新型コロナウイルスで、会社がどうなるか少し心配である。この先がどういふふうになるか分からない。
	□	人材派遣会社（社員）	・秋頃から新型コロナウイルス感染者の増加が予想されており、医療体制や収入面の不安が解消されない限り、現状から大きく改善するとは考えられない。
	□	人材派遣会社（管理担当）	・自動車関連業への派遣請負は、秋より生産数を上げる計画のため、今後2～3か月は現状維持である。コンビニ向けの麺類製造の生産計画は良いものの、他業種が悪いため、売上は低空飛行のままである。
	□	職業安定所（職員）	・緊急事態宣言は解除されたが、飲食業や小売業からは「客が戻らない」、製造業からは「仕事量が減少しているので、ラインを減らして作業している」、「納期が延長されている」等の声が寄せられているため、現状が続くとみている。
	□	職業安定所（職員）	・飲食やサービス関連の事業所では、新型コロナウイルス第2波の感染拡大を警戒して、事業拡大にちゅうちょしているようである。
	▲	*	*
	×	学校〔専門学校〕（副校長）	・新型コロナウイルス感染への心配がすぐには消えない上に、第2波への懸念もある。